

2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年3月15日

東

上場会社名 パーク24株式会社

上場取引所

コード番号 4666

URL https://park24.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川 光一

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部長(氏名) 佐々木 賢一 (TEL) 03-3491-8924

四半期報告書提出予定日 2021年3月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	62,140	△23.1	△2,758	-	△4,710	-	△4,734	-
2020年10月期第1四半期	80,786	2.2	5,118	△6.8	4,756	△10.5	2,567	△30.2

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 △5,799百万円(-%) 2020年10月期第1四半期 5,479百万円(331.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	△30.64	-
2020年10月期第1四半期	16.63	15.69

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第1四半期	339,319	25,321	7.4
2020年10月期	295,775	31,146	10.5

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 25,254百万円 2020年10月期 30,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年10月期	-	-	-	-	-
2021年10月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	130,000	△10.8	△500	-	△3,500	-	△2,500	-	△16.18
通期	282,000	4.9	13,500	-	8,500	-	5,000	-	32.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期1Q	155,048,369株	2020年10月期	155,016,369株
② 期末自己株式数	2021年10月期1Q	528,253株	2020年10月期	528,203株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期1Q	154,488,480株	2020年10月期1Q	154,451,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年11月1日～2021年1月31日）におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に持ち直しの動きが見られたものの、依然として新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響は強く、企業収益の減少や雇用情勢の悪化等厳しい状況が続いております。さらに、2021年1月に東京都や大阪府等11都府県に緊急事態宣言が発令されたことにより先行き不透明な状況となっております。また、海外においても一部の国においてロックダウンや行動制限が再発令されるなど、経済活動の制約は厳しい水準が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは感染症に対する3つの基本方針「お客様の安全を守る」「社員の安全を守る」そして「交通インフラ企業としての使命を果たす」を掲げ、感染症が事業に与えるリスクを最小化することに努めております。各事業においては、現状の需要に合致するサービス供給及びサービス展開を行うと同時に、事業構造改革を推進することで収益の改善を図っております。

営業概況といたしましては、国内外の事業ともに、当期初から当第1四半期連結累計期間末にかけて感染症拡大に伴い人の移動が徐々に減少した影響を受けました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高は621億40百万円（前年同期比23.1%減）、営業損失は27億58百万円（前年同期営業利益51億18百万円）、経常損失は47億10百万円（前年同期経常利益47億56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は47億34百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益25億67百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

駐車場事業国内

当期初から感染症が拡大したことに伴い交通量が減少、1月の緊急事態宣言発令によってさらに交通量が抑制されたことにより駐車場の稼働が減少しました。既存駐車場においては、現状の需要と供給を合致させる運用施策を継続して行うと同時に賃料交渉等による不採算物件の縮小に向けた取り組みを行い、新規駐車場においては、現状の需要環境でも収益化が可能な駐車場を厳選して開発することにより事業の筋肉質化を図っております。

この結果、国内におけるタイムズパーキングの運営件数は18,848件（前連結会計年度末比99.7%）、運営台数は593,303台（同100.2%）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は20,287件（同99.7%）、総運営台数は748,675台（同100.4%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は377億48百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は39億29百万円（同48.0%減）となりました。

駐車場事業海外

駐車場事業海外においても感染症拡大により、展開する各国で大きく影響を受けました。主な展開国の状況については、豪州は当期初より行動制限が緩和され、駐車場の稼働状況は回復基調となりました。英国においては、当期初から地域ごとに行動制限が発令され、12月には全土でロックダウンが再発令されたことにより、駐車場の稼働状況は著しく低下いたしました。そのため、各地において不採算駐車場の賃料改定交渉を積極的に行うと同時に、オペレーション体制の見直しを通じて管理・メンテナンス費用の削減及び効率化を行っております。また、事業構造改革の一環として、駐車場事業国内の特徴をベースにした各国版タイムズパーキングの開発も推進しております。

この結果、海外の駐車場の総運営件数は2,794件（前連結会計年度末比98.6%）、総運営台数は679,551台（同97.6%）となり、日本を含む全世界における駐車場の総運営件数は23,081件（同99.5%）、総運営台数は1,428,226台（同99.0%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は90億14百万円（前年同期比45.3%減）、営業損失は33億72百万円（前年同期営業利益1億32百万円）となりました。

※当第1四半期連結累計期間における海外各国の連結対象期間は2020年10月1日～2020年12月31日となります。

モビリティ事業

タイムズカー（カーシェアとレンタカーの融合サービス）については、12月から感染症拡大の影響を受けはじめ、1月は緊急事態宣言の発令によって1台当たり利用料売上高が大きく落ち込みました。このような状況下においても、都市部ではタイムズカーの需要が高いことから、車両配備の見直しを行うことで1台当たりの稼働を高める施策を行っております。また、東京都のタイムズカーレンタル店舗14店を閉鎖し、タイムズカー専用ステーションとして機能させる等、タイムズカー展開は着実に進行しております。

この結果、モビリティ車両台数は45,029台（前連結会計年度末比100.4%）、会員数は1,534,633人（同101.8%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は166億12百万円（前年同期比20.5%減）、営業損失は2億円（前年同期営業利益9億13百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比435億43百万円増加して3,393億19百万円となりました。主な増減といたしましては、増加で現金及び預金が476億18百万円、減少で機械装置及び運搬具が28億47百万円となっております。

負債合計は、同493億68百万円増加し、3,139億97百万円となりました。主に劣後特約付シンジケートローン等による借入金が増加の要因となっております。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少47億34百万円等により、同58億25百万円減少し253億21百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて476億39百万円増加し、1,029億8百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、82億61百万円（前年同期比42億57百万円の減少）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益32億42百万円、たな卸資産の減少額26億32百万円、前払費用の減少額27億14百万円、未収入金の減少額13億58百万円があった一方、未払金の減少額42億28百万円、法人税等の支払額10億92百万円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、34億55百万円（同26億75百万円の支出の減少）となりました。これは主として、タイムズパーキングへの設備投資やモビリティ車両の取得などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、425億51百万円の資金の調達（同487億11百万円の調達の増加）となりました。これは主に劣後特約付シンジケートローン等の長期借入れによる収入があった一方、長期借入金及びリース債務の返済による支出があったことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想につきましては、「2020年10月期 決算短信」（2020年12月15日付）で公表した数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,536	103,155
受取手形及び売掛金	16,146	15,338
たな卸資産	2,643	2,289
その他	27,631	28,077
貸倒引当金	△697	△749
流動資産合計	101,260	148,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,298	32,140
機械装置及び運搬具（純額）	38,310	35,463
土地	26,272	26,272
リース資産（純額）	13,664	12,898
使用権資産（純額）	26,834	26,503
その他（純額）	5,972	6,091
有形固定資産合計	143,352	139,369
無形固定資産		
のれん	16,792	16,985
契約関連無形資産	8,676	8,829
その他	4,334	4,478
無形固定資産合計	29,803	30,293
投資その他の資産		
その他	21,358	21,544
投資その他の資産合計	21,358	21,544
固定資産合計	194,514	191,207
資産合計	295,775	339,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478	536
短期借入金	26,609	28,322
1年内返済予定の長期借入金	7,094	6,126
リース債務	12,148	11,951
未払法人税等	1,720	966
賞与引当金	1,250	1,221
その他	41,125	43,759
流動負債合計	90,428	92,884
固定負債		
新株予約権付社債	35,000	35,000
長期借入金	92,808	140,863
リース債務	31,557	30,228
退職給付に係る負債	110	102
資産除去債務	9,287	9,441
繰延税金負債	1,525	1,557
その他	3,910	3,920
固定負債合計	174,201	221,113
負債合計	264,629	313,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,134	20,171
資本剰余金	15,721	15,758
利益剰余金	2,159	△2,574
自己株式	△1,255	△1,255
株主資本合計	36,761	32,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	86
繰延ヘッジ損益	△135	△149
土地再評価差額金	△1,035	△1,035
為替換算調整勘定	△3,579	△3,971
退職給付に係る調整累計額	△1,110	△1,775
その他の包括利益累計額合計	△5,779	△6,845
新株予約権	164	66
純資産合計	31,146	25,321
負債純資産合計	295,775	339,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年1月31日)
売上高	80,786	62,140
売上原価	61,629	53,105
売上総利益	19,156	9,035
販売費及び一般管理費	14,038	11,794
営業利益又は営業損失(△)	5,118	△2,758
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	2	2
為替差益	—	2
未利用チケット収入	48	38
補助金収入	124	—
助成金収入	—	341
その他	66	82
営業外収益合計	248	470
営業外費用		
支払利息	435	640
持分法による投資損失	64	46
為替差損	1	—
駐車場解約費	65	89
減価償却費	—	10
支払手数料	3	1,594
その他	39	40
営業外費用合計	610	2,421
経常利益又は経常損失(△)	4,756	△4,710
特別利益		
固定資産売却益	3	0
新株予約権戻入益	—	89
特別利益合計	3	90
特別損失		
固定資産除却損	56	2
減損損失	24	58
臨時休業による損失	—	106
事業構造改善費用	—	67
特別損失合計	81	234
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,678	△4,854
法人税、住民税及び事業税	1,441	636
法人税等調整額	597	△756
法人税等合計	2,038	△119
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,639	△4,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,567	△4,734

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,639	△4,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	5
繰延ヘッジ損益	△12	△14
為替換算調整勘定	2,970	△367
退職給付に係る調整額	71	△665
持分法適用会社に対する持分相当額	△204	△23
その他の包括利益合計	2,839	△1,065
四半期包括利益	5,479	△5,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,407	△5,799
非支配株主に係る四半期包括利益	71	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,678	△4,854
減価償却費	9,711	8,096
減損損失	24	58
のれん償却額	546	267
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	435	640
固定資産売却損益(△は益)	△3	△0
固定資産除却損	56	2
売上債権の増減額(△は増加)	△189	889
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,019	2,632
仕入債務の増減額(△は減少)	△92	57
未収入金の増減額(△は増加)	233	1,358
前払費用の増減額(△は増加)	272	2,714
未払金の増減額(△は減少)	△221	△4,228
未払費用の増減額(△は減少)	△1,831	826
設備関係支払手形の増減額(△は減少)	△279	118
その他	1,020	1,213
小計	16,374	9,782
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△423	△435
法人税等の支払額	△3,441	△1,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,518	8,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,460	△2,700
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△367	△362
長期前払費用の取得による支出	△799	△347
その他	490	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,131	△3,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,611	1,015
長期借入れによる収入	218	48,469
長期借入金の返済による支出	△33	△3,140
リース債務の返済による支出	△3,206	△3,852
株式の発行による収入	70	60
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△10,820	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,160	42,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	357	283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	583	47,639
現金及び現金同等物の期首残高	24,664	55,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,248	102,908

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注)1	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,441	16,466	20,878	80,786	—	80,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,201	—	29	1,230	△1,230	—
計	44,642	16,466	20,907	82,017	△1,230	80,786
セグメント利益	7,549	132	913	8,594	△3,476	5,118

(注)1 セグメント利益の駐車場事業海外の132百万円には、のれんの償却額△546百万円が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△3,476百万円には、のれんの償却額△0百万円、全社費用△3,475百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当第1四半期連結会計期間において、当社の子会社であるタイムズ24株式会社が展開するカーシェアリングサービスを同じく子会社であるタイムズモビリティ株式会社へ吸収分割の方法により移管いたしました。これに伴い、駐車場事業国内とモビリティ事業において、新たにセグメント間の内部取引が発生しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

駐車場事業海外セグメントにおいて、駐車場設備について減損損失を認識いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては24百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年11月1日至2021年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注)1	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,545	9,014	16,580	62,140	—	62,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,203	—	31	1,235	△1,235	—
計	37,748	9,014	16,612	63,375	△1,235	62,140
セグメント利益又は損失(△)	3,929	△3,372	△200	356	△3,115	△2,758

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の駐車場事業海外の△3,372百万円には、のれんの償却額△267百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

駐車場事業国内セグメントにおいて、駐車場設備について減損損失を認識いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては58百万円であります。